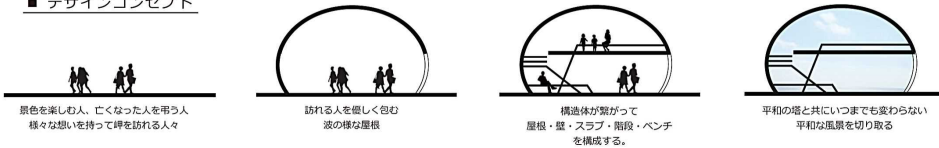


『つつむ屋根』

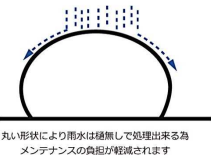
沖縄本島最南端に位置する喜屋武岬。景勝地として景色を楽しむ人が訪れる一方で、戦時には約1万人もの尊い命が失われた暗い過去の一面も持ち合わせています。今回の計画では、様々な想いを持って岬を訪れる人々を優しく迎える穏やかな波をモチーフとした休憩所としました。平和の塔のモニュメントと共に、2つの輪が変わる事の無い海や空を切り取り、いつまでも平和な日々が続くように願えるような場所となる様に提案します。



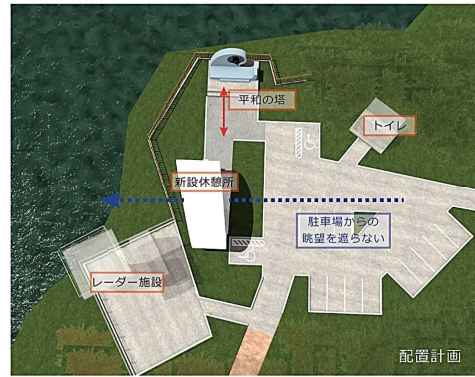
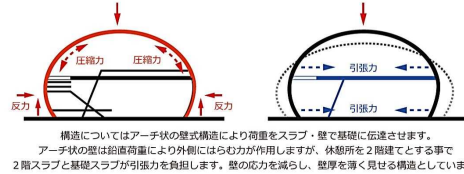
■ デザインコンセプト



■ 形状について



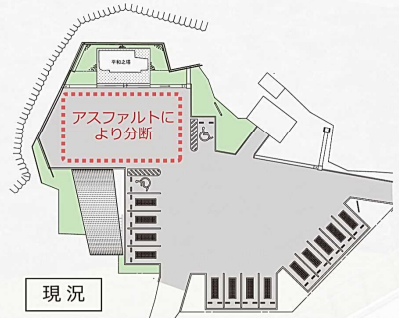
■ 構造について



■ 配置計画及びレーダー施設との干渉について

駐車場入口から海に向かって休憩所が視線を遮らないような配置としています。建設中のレーダー施設の電波範囲に干渉しない様に高さを抑えた計画としています。また、駐車場計画についても現況の配置から変更案を提案します。

■ 駐車場配置変更案



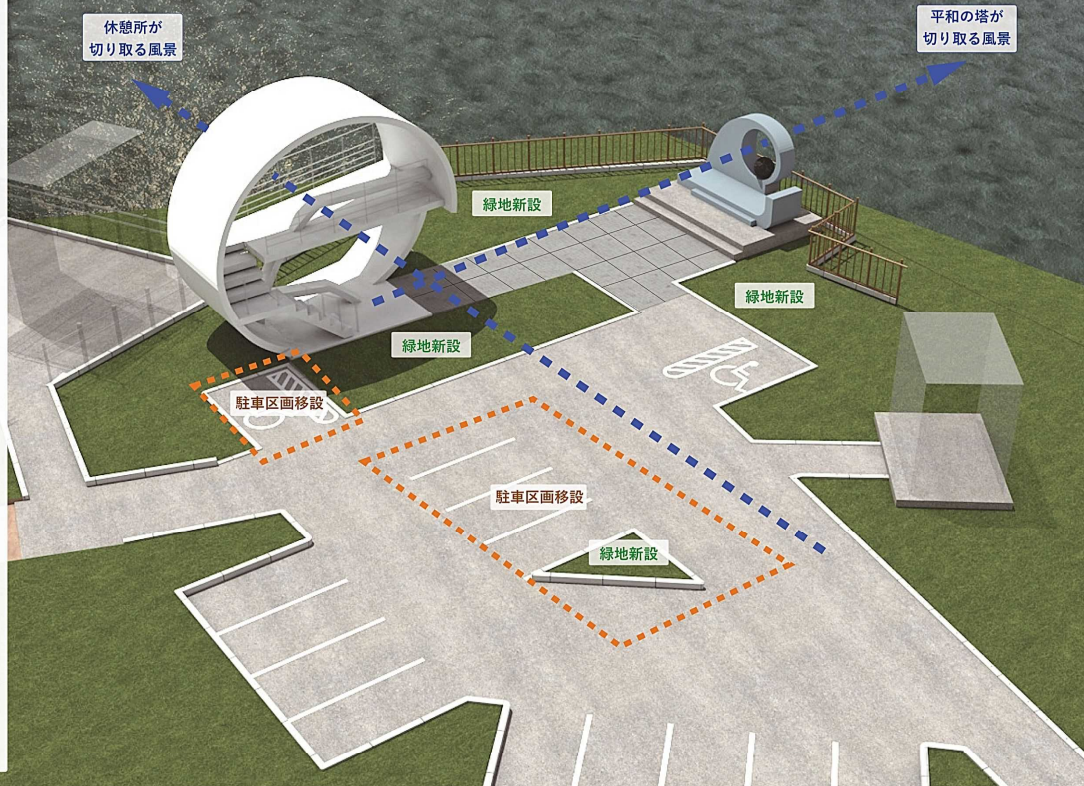
現況

現況の駐車場計画では休憩所と平和の塔がアスファルトを挟むような配置になっている為、分断されているような関係になっています。



変更案

駐車場計画を見直し、平和の塔と休憩所が一体となる様に提案します。



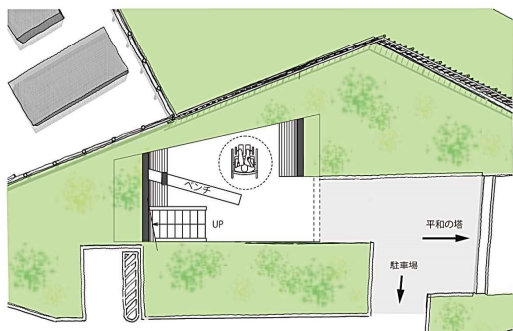
駐車場入口から見た休憩所



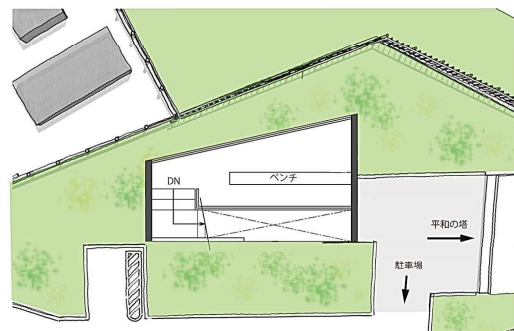
休憩所から見た平和の塔

- ・ 駐車場に入ってきた際に向き合う休憩所が切り取る風景
- ・ 休憩所から帰る際に向き合う平和の塔のモニュメントが切り取る風景
- ・ 岬を訪れる人に2つの輪が切り取る風景を印象付けるようにしています。
- ・ 喜屋武岬がもつ景勝地としての一面と、平和の尊さを考える場所である一面、その両方を認識して平和について考えられるような計画としています。

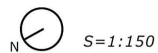
■ 1階平面図



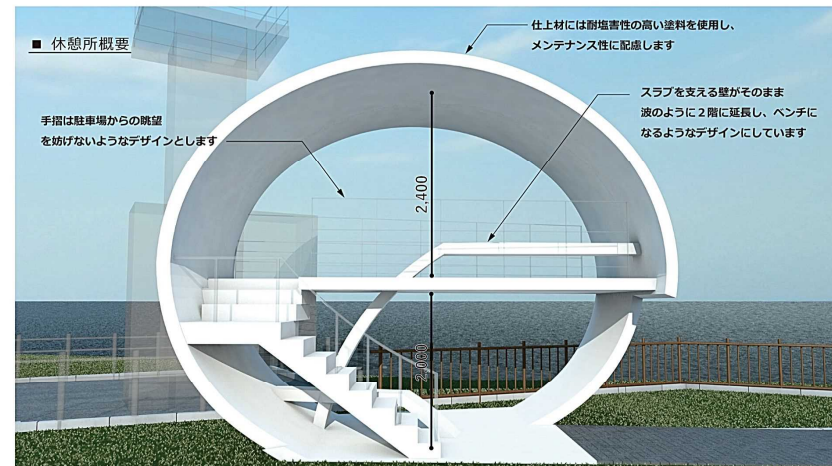
■ 2階平面図



休憩所の周囲には緑地を新設し、緑に囲まれた憩いの場となる様に計画しています。平面計画は敷地に合わせて少し角度を付けた形状としており、屋根の掛かる範囲が広がるようにしています。1階は車椅子利用者でも利用可能な休憩スペースとし、2階は景観を楽しめる様に展望スペースとしています。2階から階段を下りてきた時、休憩所から出る時、正面には平和の塔が来るような配置になっています。



■ 休憩所概要



レーダー施設への配慮と、雨の吹込みに配慮して1階、2階共天井高を抑えています。仕上材に耐塩害性の高い塗料を使用するなどメンテナンス性にも配慮します。

休憩所 建物概要
建築面積 14.72 m ²
最高高さ 4.90 m